# 小松工業高等学校　歴代校歌・応援歌

☆☆小松工業高等学校　校歌
☆小松実業高等学校　校歌

作詞・作曲　北村　斉

一、わがなつかしき　ふるさと小松
母なる白山　広き加賀野よ
ああ青春の　若人われら
あふるる希望の世界の子らよ
友よ高らかに　歌えもろともに
いざや限りなき　われらが調べ

二、梯川の　流れも清く
ふるさとの心　ゆたかに流る
ああ青春の　若人われら
打ち樹てよ正義　守れよ祖国
友よ高らかに　歌えもろともに
いざや限りなき　われらが調べ

三、生命の海よ　鳴りとどろけよ
ひろびろと波を　漕ぎわたりゆけ
ああ青春の　若人われら
たぎりみつ力　輝く未来
友よ高らかに　歌えもろともに
いざや限りなき　われらが調べ

# ☆小松実業高等学校　学生歌（読み注記）

一、　永劫（えいこう）不滅の白山を
水上（みなかみ）遠くいただきて
流れも清き梯の
ほとりに聳（そび）ゆる我等が甍（いらか）
おおその名も高し
小松実業

二、　学びの途（みち）は遠けれど
金蘭（きんらん＝固い交わりのこと）の
契りかたくして
真理の奥（おう）を究（きわ）めんと
集う千余（せんよ）の我等が友よ
おおその名も高し
小松実業

三、　封建の夢うちすてて
新しき世に生まれ出（い）ず
愛と正義の旗のもと
いや（ますます）栄えゆく我等が母校
おおその名も高し
小松実業

# ☆小松工業学校　校歌

一、　白嶺千古ゆるぎなく
厳然立てり天高く
あしたははるかにすめろぎの
宮居をろがみ御稜威
仰ぎて誓ふ忠誠に
学徒われらの信堅し

二、　梯川はたゆみなく
日本海に注ぎつつ
潮路世界に相通ず
皇謨かしこく皇国の
理想に命捧ぐべき
学徒われらの任重し

三、　伝統誇る加賀平野
今工業に躍進す
ああ創造と建設の
輝く前途あふぎみて
誠の道を一すじに
学徒われらの意気高し

☆小松工業学校　校歌　（読みと主旨）

一、白嶺（＝白山）千古（＝永遠に）ゆるぎなく
厳然（げんぜん＝おごそか）立てり天高く
あしたははるかにすめろぎ（＝天皇）の
宮居（みやい＝皇居）をろがみ（＝拝み）
　御稜威（おおみいつ＝天皇の威徳）
仰ぎて誓ふ忠誠（＝まごころ）に
学徒われらの信（しん＝まこと）堅し（＝強い）

二、梯川はたゆみなく
日本海に注ぎつつ
潮路世界に相通ず
皇謨（こうぼ＝天皇の統治）かしこく
　皇国（天皇が統治する国）の
理想に命捧ぐべき
学徒われらの任重し

三、伝統誇る加賀平野
今工業に躍進す
ああ創造と建設の
輝く前途あふぎみて（＝仰ぎ見て）
誠（まこと＝嘘のない）の道を一すじに
学徒われらの意気高し

☆小松工業学校　応援歌

一、千古不滅の白山下
北海怒涛を逆巻きて
岸辺の小松に風吹き立てば
健児の血潮は躍る哉

二、あゝ心地よや　敵きたる
斬馬（ざんば＝馬を一刀できること）の剣
腰にあり
鉄腕風を起こさんときに
聞けや男の子の勝鬨を